

平成29年度 特徴的な事業

市の総合計画に掲げられた6つの柱に沿って紹介します。

1 子育て・教育

小・中学校施設維持管理事業 1億2,521万円

小学校の教室、廊下の改修工事や中学校の外壁補修工事などを実施します。

運動遊び事業 661万円

保育園・幼稚園・小学校低学年での定着と継続を図るとともに、事業効果を高めるための研修会などを行います。

子ども・子育て支援事業 2億8,603万円

就学前の子育て支援事業を総合的に実施します。私立保育園、認定子ども園、新規小規模保育所の運営経費などを計上します。

特別支援教育等推進事業 3,937万円

学校生活支援員の配置、不登校対策、外国籍児童の支援に加え、新たに教育・保育の現場で、応用行動分析学の視点に基づいた支援を実践できる人材の育成を行います。

2 環境

浄化槽設置整備・維持管理補助事業 7,145万円

浄化槽区域における新規設置、維持管理に補助金を交付し、整備促進を図ります。

クリーンヒルこもろ運営事業 2億4,249万円

廃棄物の適正処理、リサイクル推進のため、施設を効率的に運営します。

3 健康・福祉

福祉医療等給付事業 2億7,155万円

高校3年生（18歳）まで対象を拡大した児童福祉医療及び障がい者分、母子・父子家庭分を含む福祉医療等の給付事業を継続して行います。

地域医療体制整備事業 12億9,015万円

協定に基づき総額30億円を上限とする小諸厚生総合病院移転新築事業補助金（最終年度）のほか、佐久医療センターへの助成などを計上します。

子育て世代包括支援センター運営事業 326万円

妊娠から出産・子育てまで切れ目のない支援を行うため、包括支援センターを設置します。

4 産業・交流

商工業総合振興事業 2,817万円

商店街、小規模事業者、起業家への支援の継続に加え、新たに「行列のできるお店誘致プロジェクト」を開始します。

都市農村交流推進事業 145万円

農村資源活用、地域活力強化のため、モデル事業として「農村未来プロジェクト交付金」を創設しました。

移住・定住促進事業 4,614万円

移住・交流人口の増加を図るため、体験ツアーの開催や移住・定住者の住宅取得に対する助成金の交付などを行います。

5 生活基盤整備

防災情報基盤整備・運用事業 1,249万円

大規模災害に備え、被災者支援システム構築、市役所の防災対応業務等を継続するための計画策定経費などを計上します。

非常備消防運営費 7,228万円

消防団員の処遇改善のため、災害等出動手当の支給を開始します。

都市再生整備計画事業 1億756万円

コンパクトシティ実現に向けた「立地適正化計画」の推進、大手門公園整備などを実施します。

6 協働・行政経営

市民協働推進事業 3,879万円

区への事務委託、地区懇談会の運営のほか、集会施設等の整備に対して「集会施設等整備事業補助金」を交付します。

各種団体連携事業 3,030万円

市の活性化やPRを図るため、大学をはじめとする各種団体との連携事業を推進します。

ふるさとPR事業 6,406万円

ふるさと市民制度を創設するとともに、様々な媒体を活用して小諸の魅力を発信することにより、移住交流人口、ふるさと納税などの増加を図ります。

予算の前倒して？
なんでそんなことするの？



A. 有利な財政措置が受けられるからです！

国の補正予算に基づいて市町村が事業を実施すると、補助金の早期確保や地方交付税などで有利な財政措置が受けられます。そのため、平成29年度以降に予定していた事業を平成28年度に前倒しして予算計上し、平成29年度に繰り越して実施することとしました。

国の平成28年度補正予算（第2号）に伴い、 予算を前倒し、繰越事業として行う主なもの

事業	金額
野岸小学校改築事業	4億9,442万円
小諸駅バリアフリー化設備等整備事業	2億62万円
北国街道小諸宿脇本陣再生事業	5,050万円
総合運動場整備事業	7,350万円
合計	8億1,904万円